

松本信用金庫の現況

第103期 ディスクロージャーレポート

SHINKIN REPORT 2024



松本信用金庫

将来ビジョン

[経営理念体系図]



将来ビジョン

For Your Future ～地域の未来のために～ 未来につなぐ100年分の感謝と想い

[4つのFuture]

- 松本エリアの価値向上
- 地域密着型金融への特化
- 業務効率化・金融デジタル化
- 職員の働きがいの醸成



経営方針

1 お客さまのために

常にお客さまの立場に立って考え、お客さまの喜びを自らの喜びとし、お客さまが本当に必要としているサービスや情報を見極め、提供することで信頼される金融機関を目指します。

2 地域のために

確かな能力と豊かな人間性を持った人材を育成し、新たな価値を創出し、地域の発展・活性化のために貢献していきます。

3 金庫が存続し続けるために (社会的責任、CSR・SDGs・ESG)

健全経営を行い、効率経営に全役職員が参加することで松本信用金庫として生き残り、持続可能な地域社会づくりに努力していきます。

4 働きがいのある職場のために

変革と挑戦を続け、公平・公正な人事管理により活力とやりがいのある職場を目指します。

行動理念

常にお客さまの立場に立って考え、
真にお客さまの役に立つ
サービスの提供に努めよう

確かな能力と豊かな人間性を持ち、
地域の発展・活性化に貢献しよう

健全経営・効率経営を
全役職員が意識し、
より強固な経営基盤を確立しよう

意識改革と挑戦を続け、
働きがいのある職場をつくろう

*行動理念とは、当金庫の経営理念を実現するための行動基準であり、役職員は常にこの行動理念を念頭において思考・行動することが求められます。

For Your Future ～地域の未来のために～

4つのFuture

Future① 松本エリアの価値向上

- 当金庫は営業エリアに観光地として人気の高い松本や安曇野、白馬などを抱え、鉄道や高速道路、空港といった交通インフラも整備されています。
- また、松本市が都市の成長潜在ランキングで全国上位に入る等住みやすさも魅力であり、移住先としても人気です。そんな全国に誇れる当金庫の営業エリアの魅力をより向上させるための活動を行います。

具体的施策

- I : 地方公共団体や地域関連団体、地域企業との連携強化による地域活性化策の実行
- II : 観光、農業分野の拡大と各種機関との連携による6次産業化への発展の支援による地域産業の活性化
- III : 信用金庫のネットワークやSNSを活用した地域の魅力や地域情報の積極的な発信、マッチングの実現
- IV : 社会貢献活動や地域の各種イベント、文化行事等への積極的な参加
- V : SDGs・ESGの視点(持続可能な地域社会の実現)を踏まえ、小中学生や取引先事業者への金融啓蒙活動の実施

Future② 地域密着型金融への特化

- 信用金庫は営業エリアが限定されている地域金融機関です。その特性を活かし、当金庫では地域企業の課題解決を支援するための活動に早くから着手し、地域企業や団体と連携した様々な活動を行ってきました。
- 地域の発展により寄与するべく、地域密着型金融により特化し、信用金庫にしかできない活動の実現に努めます。

具体的施策

- I : 地方創生プロジェクト「歩み」による付加価値の高い課題解決型渉外活動の深化
- II : 外部機関やプロフェッショナル人材との連携強化によるお客さまへの伴走型支援の実施
- III : 渉外活動による情報収集力を活かしたきめ細かなサービスの提供による信用金庫の競争力の発揮
- IV : 企業や個人のライフサイクルに対応した、真にお客さまの役に立つサービスの提供
- V : 相談専門拠点を活用した課題解決の促進と専門的知識を有する専任者の配置

Future③ 業務効率化・金融デジタル化

- 当金庫が地域になくてはならない存在であり続けるためには、収益環境が厳しい状況が続く中、効率性を追求し抜本的な改革や見直しを行い、強靱な経営体質(効率的な組織運営)へ転換することが求められています。
- 時代の変化によるお客さまニーズへの適応力が必要であり、これからもお客さまの選択肢を広げ、適切なサービスを行えるよう、先進的な金融サービスの提供に努めます。

具体的施策

- I : ATMを含めた店舗戦略の見直しにより、店舗形態、機能や位置付けなどに焦点を当てた新たな店舗網の構築
- II : 業務プロセスの見直し(BPR)を聖域なく行い、規程や制度、運用方法の変更を検討
- III : エリア制度の拡大により渉外係を大規模店に集約して、商品やソリューションの提案力を強化
- IV : 非対面チャネルの活用やデジタル技術の導入など、他業態との連携によるデジタル技術の積極的な活用
- V : RPAの活用によるルーティーン業務の削減、AIの導入による審査やマーケティングへの展開

Future④ 職員の働きがいの醸成

- 信用金庫の最大の経営資源は「人」であり、信用金庫がお客さまや地域の課題解決に取組み、お客さまや地域の幸せづくりと地域社会の成長に貢献するためには、信用金庫役職員の人材育成が不可欠です。
- お客さま満足度(CS)向上には、従業員満足度(ES)が高く、のびのびと働ける環境が必須です。だからこそ、当金庫はCS向上とES向上を同時に図るため、お客さまと役職員からの様々な声を当金庫の経営やサービスに活かすべく、より働きやすい職場環境の整備に努めます。

具体的施策

- I : 信用金庫に求められる人材像を明確にし、長期的な視点に立った経営理念を理解した地域を担う信用金庫人の育成
- II : 働き方改革を踏まえた適時適切な人事・賃金体系となる、人材育成と経営戦略の実現を両立する人事制度の確立
- III : 女性採用比率、管理職比率の向上、勤続年数男女差の是正、キャリアコース充実など、女性職員のさらなる活躍促進
- IV : ワーク・ライフ・バランスの推進、育児・介護等に対する支援、多様で柔軟な就業体制配置など、働きやすく、働きがいのある職場づくり
- V : 役職員全員が金庫の社会的責任と公共的使命を常に自覚し、コンプライアンス経営の徹底に努める

令和5年度の業績ハイライト

預金積金

令和6年3月末 預金積金残高
4,420億円

貸出金

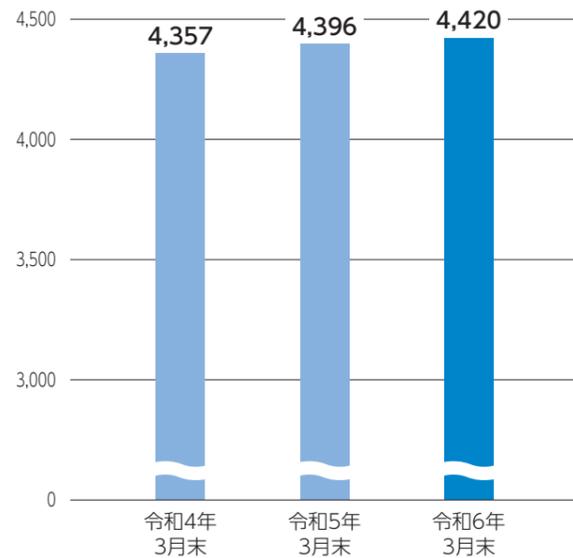
令和6年3月末 貸出金残高
2,103億円

預金は、個人のお客さまによる定期性預金が減少した一方、法人・個人ともに流動性預金が大きく増加した結果、対前期比24億円増加の4,420億円（0.55%増加）となりました。

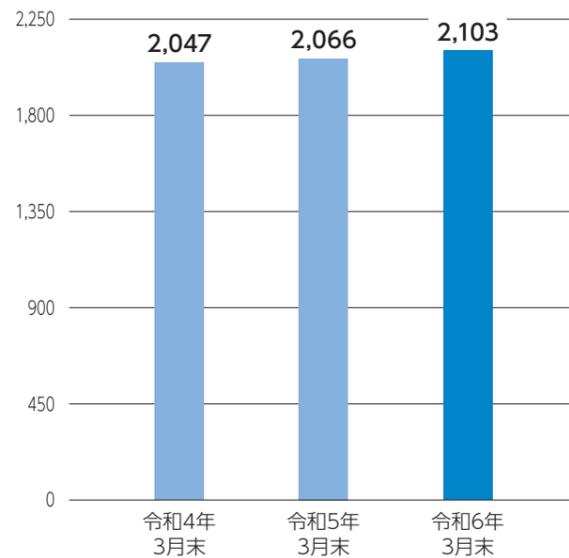
貸出金は、個人ローンを中心とした個人のお客さま向けが大きく増加した結果、対前期比37億円増加の2,103億円（1.78%増加）と、期末過去最高残高となりました。

なお、預貸率（預金積金に占める貸出金の割合）は47.58%となっております。

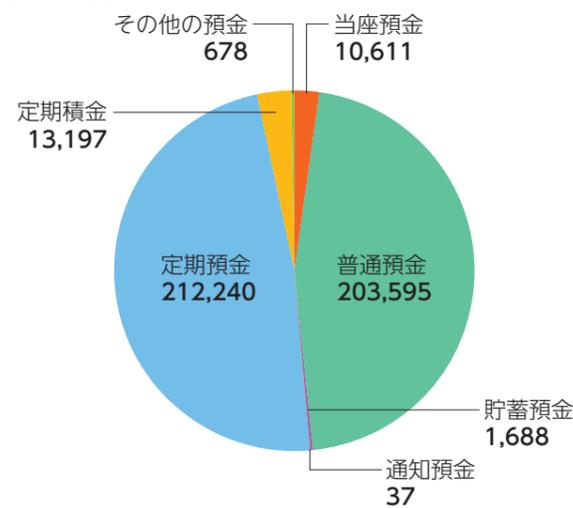
預金残高 (単位：億円)



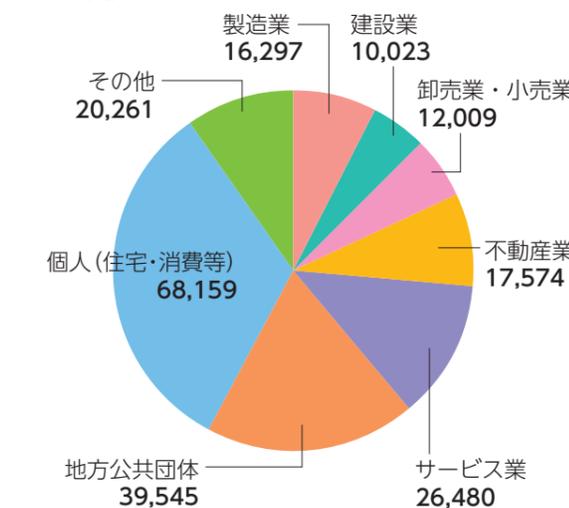
貸出金残高 (単位：億円)



預金積金の科目別内訳 (単位：百万円)



貸出金業種別内訳 (単位：百万円)



収益状況

コア業務純益・コア業務純益 (除く投資信託解約損益)

令和5年度 コア業務純益
1,567百万円
令和5年度 コア業務純益 (除く投資信託解約損益)
1,225百万円

経常利益

令和5年度 経常利益
660百万円

当期純利益

令和5年度 当期純利益
636百万円

コア業務純益は、対前期比3億19百万円増加し15億67百万円、コア業務純益（除く投資信託解約損益）は対前期比3億円増加し12億25百万円となりました。

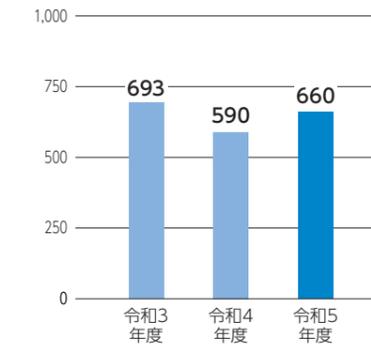
経常利益は、対前期比70百万円増加し6億60百万円となりました。

当期純利益は、対前期比28百万円増加し6億36百万円となりました。

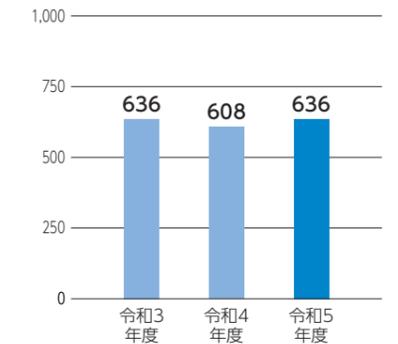
(単位：百万円)



(単位：百万円)



(単位：百万円)



経営指標

自己資本比率

令和6年3月末 自己資本比率
14.13%

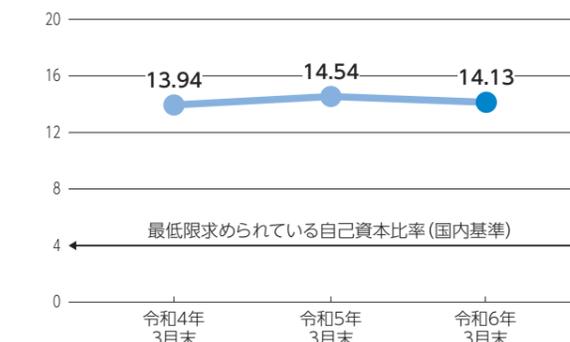
不良債権残高・不良債権比率（金融再生法ベース）

令和6年3月末 不良債権比率
5.45%

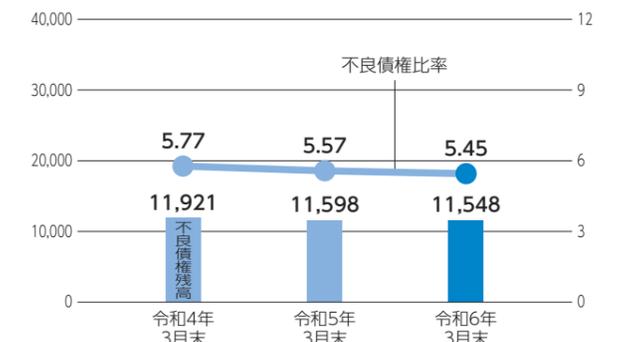
金融機関の安全性を示す代表的な指標である自己資本比率は、対前期比0.41ポイント低下し14.13%となりました。なお、安定した収益確保による利益剰余金の積み上げにより、信用金庫に求められる国内基準4%を大幅に上回っております。不良債権残高は、対前期比50百万円減少し115億48百万円となりました。また、不良債権比率は対前期比0.12ポイント改善して5.45%となりました。

*不良債権比率 = (金融再生法上の不良債権 ÷ 金融再生法上の開示債権) × 100

(単位：%)



(単位：百万円)



中小企業の経営改善および地域の活性化のための取組み状況

～中小企業の経営支援～

当金庫の金融仲介の取組みについて

2016年9月に、金融機関における金融仲介機能の発揮状況を客観的に評価できる多様な指標として「金融仲介機能のベンチマーク」が金融庁より公表されました。当金庫は、「課題解決への取組みを強化することによる、金融仲介機能の深化」を経営の重要課題としており、お客さまとの対話を通じ、経営目標の実現や、様々な課題解決に取組み、地域社会の発展に貢献してまいります。

取引先企業の抜本的事業再生等による生産性の向上

(1)貸付条件の変更を行っている中小企業の経営改善計画の進捗状況

	条件変更総数	好調先	順調先	不調先
中小企業の条件変更先に係る経営改善計画の進捗状況	848社	15社	41社	792社

※経営支援先のうちモニタリングを実施している68先について判定し、していない先は全て「不調」としてあります。なお、「好調先」、「順調先」、「不調先」の判断は、売上およびCFの双方で判定しております。

(2)関与した創業・第二創業の件数

	令和6年3月末	令和5年3月末	令和4年3月末
件数	89件	80件	51件

(3)ライフステージ別の与信先数および融資額

	全与信先	創業期	成長期	安定期	低迷期	再生期
ライフステージ別の与信先数	3,269社	336社	110社	931社	77社	96社
ライフステージ別の与信先に係る事業年度末の融資残高	955億円	53億円	65億円	526億円	21億円	46億円

担保・保証依存の融資姿勢からの転換

	先数	融資残高
事業性評価に基づく融資を行っている与信先数および融資残高	166社	397億円
上記計数の全与信先数および当該与信先の融資残高に占める割合	5.1%	41.6%

地域へのコミットメント・地域企業とのリレーション

(1)地域の企業数および取引先数の推移との比較

	令和6年3月末	令和5年3月末	令和4年3月末
企業数の推移（地元）	17,871社	18,958社	18,958社
取引先数の推移（地元）	3,234社	3,261社	3,301社

※地域の企業数：RESAS地域経済分析システムより（最新データは2021年更新）
※取引先数：当金庫融資先数

(2)メイン取引（融資残高1位）先数の推移および全取引先数に占める割合

	令和6年3月末	令和5年3月末	令和4年3月末
メイン取引先数の推移	841社	861社	884社
全取引先数に占める割合	25.7%	26.1%	26.5%

事業性評価に基づく融資等、担保・保証に過度に依存しない融資

(1)地元の中小企業と信先のうち、無担保融資先数および無担保融資額の割合

地元の中小企業融資における無担保融資先数および無担保融資額の割合					
①	②	③	④	③/①	④/②
地元中小と信先数	地元中小向け融資残高	無担保融資先数	無担保融資残高		
3,234社	918億円	2,113社	247億円	65.3%	26.9%

(2)経営者保証に関するガイドラインの活用先数、および全与信先数に占める割合

①	②	②/①
全与信先数	ガイドライン活用先数	
3,269社	497社	15.2%

本業（企業価値の向上）支援・企業のライフステージに応じたソリューションの提供

	①	②	②/①
メイン取引先のうち、経営改善提案を行っている先の割合	メイン先数	経営改善先数	
	841社	59社	7.0%

	令和6年3月末	令和5年3月末	令和4年3月末
創業相談受付先数	89社	85社	96社
創業融資先数	54社	51社	48社
販路開拓支援先数	352社	336社	205社
事業承継支援先数	75社	299社	41社
M&A支援先数	94社	148社	24社

外部専門家の活用

	令和6年3月末	令和5年3月末	令和4年3月末
外部専門家を活用して本業支援を行った取引先数	736社	516社	374社

再生支援協議会との連携状況

長野県中小企業再生支援協議会	22社
----------------	-----

相談受付件数

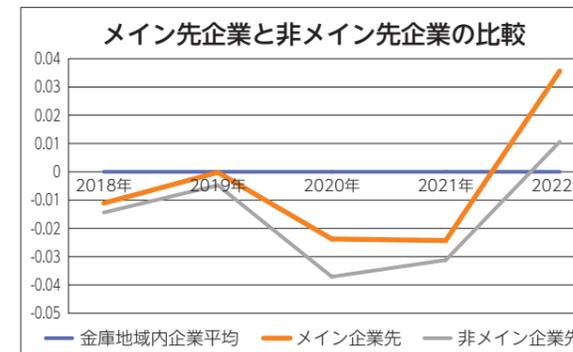
企業からの本業支援に関する年間相談受付件数	1,827件
渉外1人あたりの企業からの本業支援に関する相談受付件数	26.8件/人

金融機関の新しい指標=i Bank index：企業育成評価指標

金融機関の様々な活動（課題解決型金融・経営改善・融資等）が、取引先企業の業績にどれくらいお役にたっているのか（取引先企業への貢献度）を定量的に示した、全く新たな指標です。

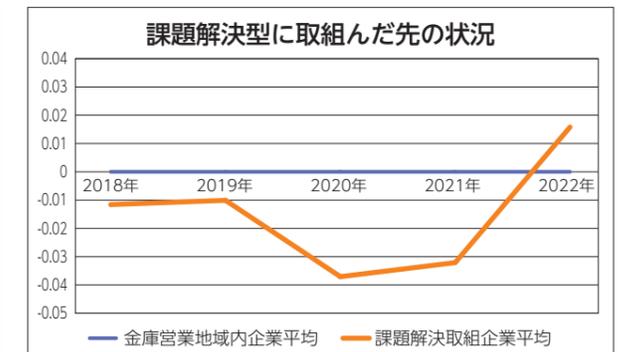
取引先企業の決算数値を単純に比較するのではなく、営業エリア内の企業平均を「0」として比較グラフ化することで、当金庫が2018年から取り組んでいる「課題解決型金融」の有効性を表しております。

1. 取引企業の経常利益率の指標（i Bank index）



当金庫営業エリア内において、当金庫をメイン金融機関としてお取引いただいている企業平均は地域内平均、非メイン先平均を上回り、経常利益率は向上していると判断できます。

2. 課題解決に取り組んだ先の経常利益率の指標（i Bank index）



取引先企業の課題解決に取り組んだ先の経常利益率の平均は、2018年から2021年までは、営業地域内平均を下回っていましたが、2022年からは地域内平均を上回るようになりました。

※金庫地域内企業は、東京商工リサーチ（TSR）に5年連続で決算書がある先、かつ売上高3億円未満、上下1%を控除している。
※指標の基礎となるデータが、取得可能な範囲に限られているため、絶対的な指標ではありません。
※株式会社データ・ルーベ「金融機関の支援力評価モデル」（特許第6754107号）による指標を採用。

「経営者保証に関するガイドライン」への取組み

当金庫では、「経営者保証に関するガイドライン」および「事業承継時に焦点を当てた『経営者保証に関するガイドライン』の特則」の趣旨や内容を十分に踏まえ、お客さまからお借入れや保証債務整理の相談を受けた際に真摯に対応するため、「経営者保証に関する取組方針」を策定しております。同取組方針に基づき、経営者保証の必要性については、お客さまとの丁寧な対話により、法人と経営者の関係性や財務状況等の状況を把握し、同ガイドライン等の記載内容を踏まえて十分に検討するなど、適切な対応に努めております。

	令和5年度
新規に無保証で融資した件数	1,474件
新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合	53.95%
保証契約を解除した件数	44件
経営者保証に関するガイドラインに基づく保証債務整理の成立件数（当金庫をメイン金融機関として実施したものに限り）	0件

○経営者保証に関する取組方針

<https://www.matsumoto-shinkin.jp/pdf/keieishahoshou.pdf>



松本信用金庫SDGs宣言

当金庫は「もっと身近な金融機関として質の高い金融サービスの提供に努め、お客さまや地域経済の発展に貢献する。」を経営理念として事業展開しております。この理念は、2015年9月、国連で採択されたSDGs（持続可能な開発目標）の理念に通じることから、SDGsを重要な目標と捉え、金融サービスを通じ、地域社会、環境、経済などの側面から、持続可能な地域社会の実現に貢献してまいります。



継続的SDGsの取組み

経済 Economy



○地方創生プロジェクト「歩み」

地域・取引先企業の抱える課題に対し、営業店職員と本部担当部署が同行訪問による情報収集を行い、企業の抱える課題、実態を把握し、外部支援機関との連携により課題解決のサポートを行う活動として、平成28年度より「歩み」活動を開始し、渉外活動の要として根付いてきております。



○松本信用金庫ビジネスクラブ
・企業成長・課題解決に向けた有益情報の提供
・ビジネスマッチングの取組み



○各種セミナー開催
・起業セミナー
・補助金セミナー等
・ビジネスフェア等の商談会の推進

環境 Environment



- クールビズ・ウォームビズの実施
- 電力使用量、コピー用紙使用量、車両燃料使用量の実態把握と削減への啓発
- ノーマーカーデー運動への参加
- 環境配慮型通帳（松本山雅FC通帳）を使用
- 店舗周辺の清掃活動
- 森林（もり）の里親促進事業

○中部山岳国立公園パートナーシップ

日本が世界に誇る中部山岳国立公園の美しい景観とそこに滞在する魅力、さらには国立公園のブランド価値を維持・発信しております。また、中部山岳国立公園内で行われる環境保全活動へ参加しております。



環境省 中部山岳国立公園
<http://www.env.go.jp/park/chubu/>



社会 Social



- 地域の魅力発信・子育て世代支援
・子育て応援イベントへの参加
「ママフェスまつもと2023」
- 地域行事への参加
・松本ぼんぼん等地域お祭りへの参加
- 松本山雅FCの応援と支援



長野県SDGs推進企業

- エネルギー使用量（電力使用量）削減
・2019年から2030年までの間に電力使用量を20%削減します。
（クールビズ・ウォームビズ実施、電力デマンド監視システム「ecoナビ」導入、LED化推進）
- 取引先企業へのコンサルティング機能強化（課題解決型金融強化）
・地方創生プロジェクト「歩み」の活動強化
・ビジネスサポートセンター（Matsu-ing まついんぐ）オープンにより取組み強化

非財務ハイライト



（令和5年度）

●有給休暇平均取得日数



13.3日

●一人当たり教育訓練費

22,507円



●職員平均勤続年数

全体 17年3ヶ月
男性 18年5ヶ月
女性 16年8ヶ月

●女性役職者比率（主任以上）

21.92%



●新卒採用職員定着率（入庫後3年間）



96%

●時間外労働時間（月平均）

6時間



●育児休業および育児目的休暇の取得者数・取得率

	取得者数	取得率
男性	11名	91.67%
女性	4名	100%



TOPICS

松本信用金庫躍進大会

令和5年度の業績向上を目指し、職員一丸となり業務に取り組むよう躍進大会を開催しました。また、100周年記念ソングを手掛けていただいた高橋あず美さんのライブも行われ、職員で楽しみました。



同友会「秋季講演会」落語家 桂宮治さん

落語家 桂宮治氏をお迎えして4年ぶりの秋季講演会を開催しました。元トップセールスマンの経験に基づいたコミュニケーション術の講演と落語に会場は終始笑いに包まれ、とても盛り上がりました。



税のダイレクト納付をアピール

松本税務署より、国が進める納税のキャッシュレス化やダイレクト納付の普及拡大への貢献に対する感謝状が贈呈されました。店内でキャッシュレス納付の関連動画を流すなどダイレクト納付のアピールに今後も努めてまいります。



ママフェスまつもと2023 春・冬

ママフェスは、子育て中の母親が安心して楽しめる街づくりや、子育て家庭が街中に出掛けるきっかけづくりとして、信毎メディアガーデン・松本PARCO・花時計公園等で開催され、2018年初開催以降、毎年2回(春・冬)にブース出展を行っております。



都市大塩尻高校で出張授業

一般社団法人KOKOと連携し「プレターン希望者に企業の魅力とキャリアの可能性を届ける事業」として、都市大塩尻高校で出張授業を行いました。塩尻市の魅力を発信できるフードメニュー提案や、課題解決金融の体験を行いました。



フードドライブ事業

生活に困っている人を支援する取組みとして広がりを見せているフードドライブ事業を当金庫でも初めて実施し、職員の協力により656点もの食品を「フードバンク信州」に届けることができました。



社員の子育て応援宣言

従業員が仕事と家庭を両立できるような「働きやすい職場環境づくり」に取り組めます。働きながら安心して子どもを産み育てることができる環境を整備し、当金庫将来ビジョンの「職員の働きがいの醸成」に繋げてまいります。



森林(もり)の里親

2013年より森林(もり)の里親促進事業として毎年春・秋に森林整備を行っております。松本市岡田財産区が所有する芥子坊主農村公園内「しんきんの森」には、現在、約500本の紅葉が植樹されております。



第6回しんきん&テレビ松本優勝旗争奪ミニバスケットボール大会

12月23日・24日に塩尻市総合体育館(ユメックスアリーナ)など2会場でミニバス大会を開催しました。男女各13チームが出場し、白熱した試合が繰り広げられました。当金庫もブース出展し、子ども達の笑顔を見ることができました。



「健康増進企画 ラン&ウォークイベント」

健康増進企画として、信州まつもとスカイパークにて、職員、家族が参加イベントを開催しました。4キロ・10キロコースをそれぞれのペースで完走・完歩してきました。今後も、職員の健康増進のために続けてまいります。



信寿会年金ふれあい親睦の旅

当金庫の口座からの年金受給者を対象に、年に一度日帰り旅行を催しております。令和5年度は、ぎふワールド・ローズガーデンで20,000株のバラと花々の織りなす景色と、長良川や岐阜城がそびえる金華山を眺めながらの昼食をお楽しみいただきました。



松本信用金庫アプリ導入

スマートフォンを利用して来店不要で、口座開設、残高照会、入出金明細の確認、各種お手続きのお申し込みがいただけます。ぜひご利用ください。



松本信用金庫ネットワーク

▶松本信用金庫店舗一覧

	店番	店舗名	所在地	電話
松本市	1・6	本店営業部・中町支店	松本市丸の内1-1	0263-35-0002
	2	本町支店	松本市深志2-3-9	0263-32-5670
	3	浅間温泉支店	松本市浅間温泉1-15-10	0263-46-2220
	4	西支店	松本市渚2-4-1	0263-25-6450
	11	波田支店	松本市波田9812-6	0263-92-3077
	13	南支店	松本市宮田4-2	0263-26-2233
	14	村井支店	松本市村井町南4-4-3	0263-58-4080
	16	北支店	松本市桐1-2-36	0263-35-5525
	19	二子支店	松本市大字笹賀5213-1	0263-26-8811
	20	島内支店	松本市大字島内4588-1	0263-47-3000
	22	清水支店	松本市清水1-9-8	0263-34-2200
	23	つかま支店	松本市筑摩2-8-5	0263-27-0300
	28	梓川支店	松本市梓川倭907-1	0263-78-6000
		しんきんビジネスサポートセンター ローンセンター	松本市中央3-11-3 松本市丸の内1-1	0263-35-0007 0263-38-1646
塩尻市	9	塩尻支店	塩尻市大門八番町2-13	0263-52-1180
	21	広丘支店	塩尻市大字広丘原新田215-58	0263-52-5800
木曽郡	12	木曽福島支店	木曽郡木曽町福島6169-1	0264-22-2487
大町市	8	大町支店	大町市大町3206-6	0261-22-1600
北安曇郡	5	池田支店	北安曇郡池田町大字池田4370-1	0261-62-3101
	17	白馬支店	北安曇郡白馬村大字北城1330-1	0261-72-3790
	25	松川支店	北安曇郡松川村5794-491	0261-62-6111
安曇野市	7	穂高支店	安曇野市穂高5964-5	0263-82-3100
	10	明科支店	安曇野市明科中川手3760-2	0263-62-3201
	15	梓橋支店	安曇野市豊科高家5186-1	0263-72-0133
	26	豊科支店	安曇野市豊科南穂高515-1	0263-72-7007
東筑摩郡	18	筑北支店	東筑摩郡麻績村麻4106-1	0263-67-4000
	27	山形出張所	東筑摩郡山形村1721-7	0263-98-3820

▶店舗外ATM一覧

●日曜・祝日休業 ●土曜・日曜・祝日休業

駅	松本市	松本ステーションビル(MIDORI)
病院	松本市	●相澤病院
行政施設	松本市	●松本合同庁舎 ●松本市役所 ●松本市役所四賀支所
	松本市	イオン南松本店 イオンモール松本 西友島内店 西友笹部店 イトーヨーカドー南松本店 デリシア寿店
商業施設	塩尻市	西友塩尻西店
	大町市	ザ・ビッグ信濃大町店
	北安曇郡	西友松川店
	安曇野市	ザ・ビッグ穂高店 ペイシアあづみの堀金店
	東筑摩郡	アイシティ21
		イオンタウン信州山形

▶営業地区一覧

松本市
岡谷市
諏訪市
伊那市
大町市
塩尻市
安曇野市
諏訪郡
茅野市
上伊那郡(除く飯島町・中川村・宮田村)
木曽郡
東筑摩郡
北安曇郡
長野市(旧更級郡大岡村地区)
岐阜県中津川市(旧長野県木曽郡山口村地区)

しんきん ローンセンター

松本城前しんきん本店のローンセンターでは、住宅ローンをはじめ各種ローンのご相談を専門のスタッフが承ります。年金相談窓口も設けております。平日お忙しい方もお気軽にお立ち寄りください。



松本信用金庫本店内 松本市丸の内1-1

営業時間

平日 9:00~15:00
土・日曜日 10:00~17:00

休業日

祝日・12/31~1/3

TEL:0120-0263-16

役員一覧／組織図／事業内容

役員一覧

(令和6年6月末現在)

理事長(代表理事)
鶴見 明夫

常務理事(営業統括部長)
横山 俊一

常務理事(資金証券部長)
青柳 栄一

常勤理事(融資部長)
矢沢 秀弘

常勤理事(総務人事部長)
上條 博士

常勤理事(本店営業部長兼中町支店長)
福田 浩二

理事(非常勤)
百瀬 方康^{※1}

理事(非常勤)
武田 善彦^{※1}

理事(非常勤)
土屋 久^{※1}

常勤監事
安藤 雅人

監事(非常勤)
清澤 由幸

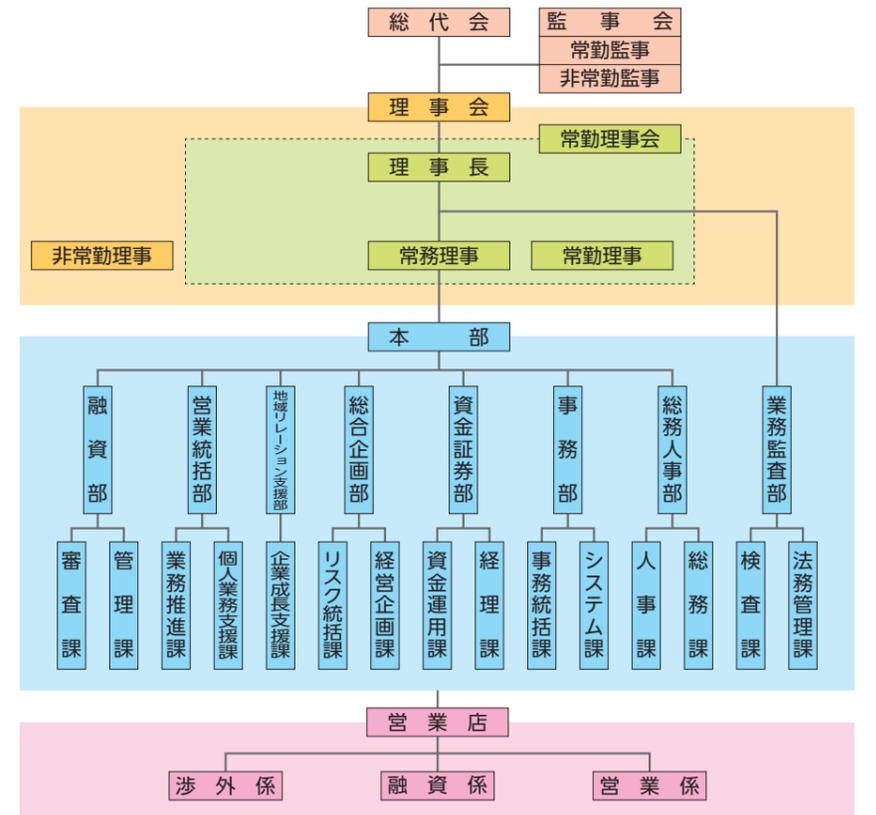
監事(非常勤)
薄井 邦彦^{※2}

※1 理事 百瀬方康、武田善彦、土屋久は、信用金庫業界の「総代会の機能向上策等に関する業界申し合わせ」に基づく職員外理事です。

※2 監事 薄井邦彦は、信用金庫法第32条第5項に定める員外監事です。

組織図

(令和6年6月末現在)



会計監査人の名称：EY新日本有限責任監査法人 (令和6年6月末現在)

理事会：理事会は当金庫の理事全員によって構成され、金庫の重要事項について決議をします。理事長等の代表理事はこの理事会で選任されます。なお、毎回監事も出席しております。

常勤理事会：当金庫の常勤役員によって構成され、日常業務はこの常勤理事会の決定を踏まえて行われます。

監事会：当金庫の監事全員で構成され、その職務に関する重要事項について協議・報告をします。

松本信用金庫の主な事業内容

1 預金業務

当座預金、普通預金、貯蓄預金、通知預金、定期預金、定期積金、別段預金、納税準備預金、譲渡性預金等を取り扱っております。

2 貸出業務

(1)貸付
手形貸付、証書貸付および当座貸越を取り扱っております。

(2)手形の割引
銀行引受手形、商業手形および荷付為替手形等の割引を取り扱っております。

3 有価証券投資業務

預金の支払準備および資金運用のため、国債、地方債、社債、株式、その他の証券に投資しております。

4 内国為替業務

送金為替、当座振込および代金取立等を取り扱っております。

5 附帯業務

- (1)代理業務
- ①日本銀行歳入代理店
 - ②地方公共団体の公金取扱業務
 - ③信金中央金庫の代理店業務
 - ④(株)日本政策金融公庫等の代理貸付業務
- (2)保護預りおよび貸金庫業務
- (3)有価証券の貸付
- (4)債務の保証
- (5)公共債の引受
- (6)国債等公共債および証券投資信託の窓口販売
- (7)保険商品の募集業務
(保険業法に基づく保険募集)
- (8)両替
- (9)電子債権記録業に係る業務

総代会制度

信用金庫の最高意思決定機関である総代会

信用金庫は、会員同士の「相互信頼」と「互恵」の精神を基本理念に、会員一人ひとりの意見を最大の価値とする協同組織形態の金融機関です。したがって、会員は出資口数に関係なく、一会員一票の議決権を持ち、総会を通じて当金庫の経営に参加することになります。

しかしながら、当金庫は会員数が大変に多く、総会の開催は事実上不可能です。そこで、当金庫では、会員の総意を適正に反映し、充実した審議を確保するため、総会に代えて総代会制度を採用しております。

この総代会は、決算に関する事項、定款の変更、役員を選任等の重要事項を決議する最高意思決定機関です。したがって、総代会は、総会と同様に会員一人ひとりの意見が当金庫の経営に反映されるよう、会員の中から適正な手続きにより選任された総代により運営されます。

また、当金庫では、総代会に限定することなく、日常の事業活動を通じて、総代や会員とのコミュニケーションを大切に、様々な経営改善に取り組んでおります。

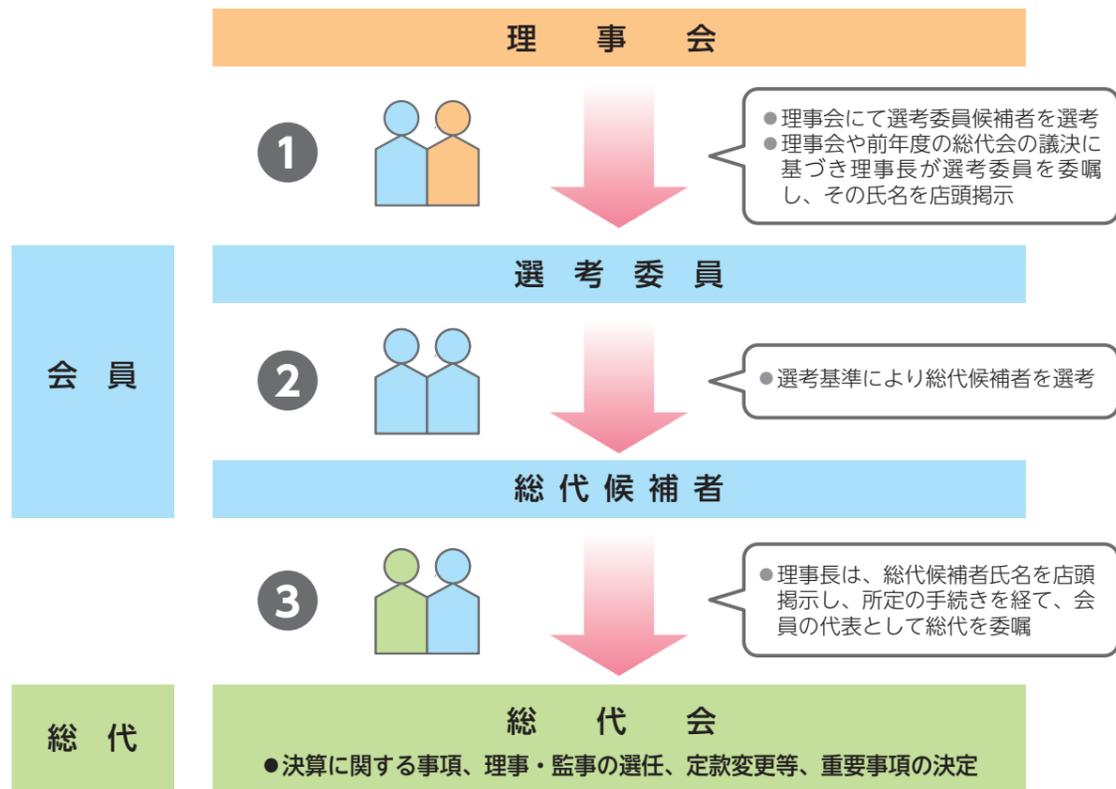
総代の任期と定数について

- 総代の任期は3年です。
- 総代選任のため、当金庫の地区を9区の選任地区に分ち、会員数に応じて総代の定数を定めております。
- 総代の定年は78歳です。
なお、令和6年6月末現在の会員数は34,736名、総代数は120名となっております。

当金庫の総代選考基準について

- ①資格要件
当金庫の会員であること
- ②適格要件
 - 総代として相応しい見識を有している方
 - 良識をもって正しい判断ができる方
 - 地域における信望が厚く、総代として相応しい方
 - 人格、識見に優れ、当金庫の発展に寄与できる方
 - 金庫の理念・使命をよく理解し、金庫との密接な取引関係を有する方
 - その他総代選考委員が適格と認めた方

総代会の仕組み（総代会は、会員の総意を適正に反映するための制度です）



第103期通常総代会の議題

令和6年6月24日に開催した第103期通常総代会において、下記の通り報告ならびに決議されました。

①報告事項

第103期（令和5年4月1日から令和6年3月31日まで）
業務報告、貸借対照表および損益計算書の内容報告の件

②決議事項

- 第1号議案 剰余金処分案承認の件
- 第2号議案 総代選考委員選任の件
- 第3号議案 会員除名の件
- 第4号議案 理事および監事の任期満了に伴う役員選任の件
- 第5号議案 退任役員に対する退職慰労金贈呈の件



総代一覧

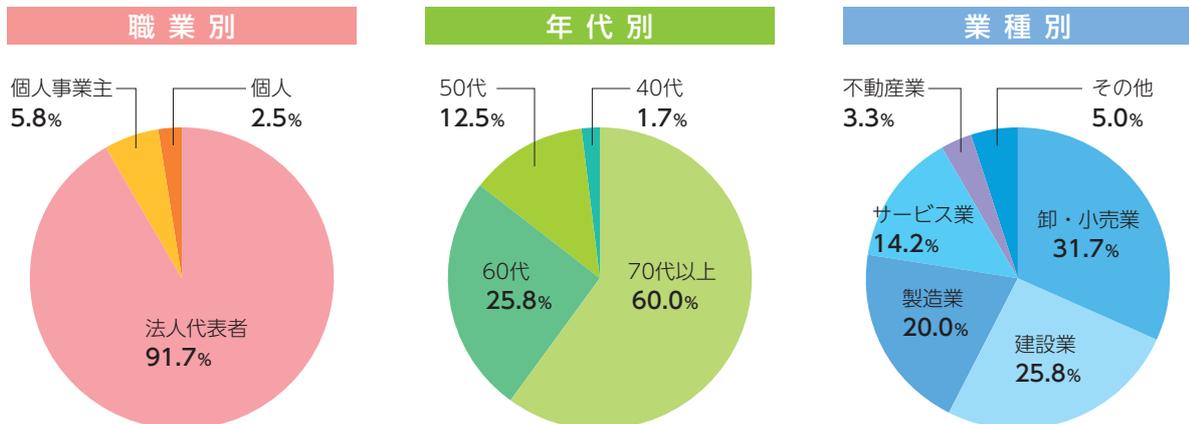
（敬称略、令和6年6月末現在）

選任区域	人数	氏名	就任回数										
第1区 松本市	6名	縣 正長	4	大蔵 章男	2	大宮 康彦	8	藤澤 正佳	3	宮澤 敏文	5	山口 尚徳	1
第2区 松本市	13名	齊藤 茂行	6	奥原 幸	6	小岩井俊明	2	小松 和茂	1	富成 敏文	3	花岡 貞夫	6
		西川 禎人	8	原 一宏	4	宮坂 祥子	2	吉川 進	2	大輪 安貴	5	輿 哲夫	3
		松沢 宏	3										
第3区 松本市	10名	降旗 憲治	8	倉科 晶夫	2	黒崎 俊介	6	甕 奉邦	15	望月 一将	3	金井 宏道	5
		永瀬 完治	5	清澤 進	1	平野 享	2	深澤 敏雄	1				
第4区 松本市 東筑摩郡	16名	赤津 誠内	1	奥村 猛	3	小寺 泰子	2	小林 磨史	3	松田 則男	2	土屋 久	1
		木藤 利光	3	谷上 正明	1	中野 悦實	3	中野 成人	6	平沢 典義	1	福澤 倫治	3
		古田 寛司	5	一之瀬龍太	1	小原 文彦	3	梶浦 稔	1				
第5区 松本市	14名	赤羽 勝巳	2	江原 久	3	武田 善彦	3	古屋 昇	3	箕輪 進	2	上條 稔	1
		長嶋 栄一	4	二山 良一	4	山村 和永	3	横山 恵行	2	上嶋 金司	1	鈴木 健之	4
		丸谷 一友	1	三村 幸平	2								
第6区 松本市 安曇野市	19名	遠藤 洋一	2	沖 健史	2	小林 重徳	4	小宮山 昇	3	佐野 訓久	2	菅澤 一隆	3
		高橋 秀生	5	穂高 光雄	1	望月 秀文	1	犬飼 秀雄	5	小林 文夫	4	高山 政登	3
		竹内 喜英	2	小川原 浄	4	佐原 良彦	1	猿田 実	7	宮沢 佳廣	1	齋藤 章	2
		丸山 仁士	8										
第7区 松本市 安曇野市 東筑摩郡	10名	上條 充繁	5	下里 泰郎	5	平林 慶則	3	藤澤 幸治	3	堀内千一郎	2	横内 好幸	7
		牛越 恵司	2	関川 光寿	2	滝沢 貢吉	3	渡辺 武喜	1				
第8区 大田市 北安曇郡	17名	小林 正芳	1	小山 好一	1	松倉 隆良	5	吉田 良造	1	小口 松年	3	草深 国芳	5
		平林 敏道	1	井内 猛男	6	河内 龍佑	5	倉科 誠	5	斎藤 秀樹	1	原 滋俊	2
		蜜澤 茂志	1	山口 尚紀	2	平林 一富	4	松本 平司	2	太田 具英	1		
第9区 塩尻市 木曾郡 東筑摩郡	15名	石本 克彦	1	清澤 由幸	5	浜 行雄	1	古畑 守	5	宮原 雅彦	3	山田 義仁	1
		太田 修身	8	大槻 和人	6	上條 英雄	5	鈴木 治男	1	柴原 薫	4	高沢 倫雄	5
		林 博	8	水本 豪	1	由井 成篤	1						

総代が選任されるまでの手続きについて



総代の属性別構成比



※法人役員の方は属されている法人の業種で分類しております。